

【67】豆腐とバナナは安価です

この数年、出不精になったカミさんに代わって、ヒマの出来た小生がスーパーマーケットに食材を買いに出かけることが多くなりました。

広い店内で、それこそ無数というべく多くの商品を見て歩くのも、物価の変動を肌で感じる事が出来て社会勉強になります。

この頃、野菜、果物、肉、魚、卵、牛乳等のいわゆる生鮮食料品の値上がりが著しいのを、主婦感覚で心配しながら見ていますが、昨年夏頃から米の価格が5kg二千数百円から現在の5千円弱まで2倍にも上がったのを、このデフレとも言われる時代の事とは思えず驚いています。

ところが、加工品や嗜好品を含め殆んど全ての品々が値上がりしている中で、奇跡的にも安価なまま頑張っているのが、豆腐、納豆、もやしの大豆製品です。

3個でワンパックの豆腐や納豆は80円前後、もやし一袋が30~40円と、こんなに安くて良いのかと心配しながら買っていますが、いずれも健康食品なので高齢者にとってもありがたい存在です。

しかしながら、この日本の伝統的食品（起源は中国ですが）の原料たる大豆の、わが国における生産量は年間2~30万トンで、消費量400万トンの殆んどが海外からの、とくにアメリカからの輸入なのです。

もっともアメリカの大豆生産量は莫大で、1億2千万トン/年もありますから日本の輸入量はそう多くないのですが、この頃は中国のアメリカからの輸入量が大巾に増えて買い負けすることもあるそうです。

果物の世界で安価なものという点意外にも輸入品のバナナです。

わが国の果物は高品質でおいしいのですが、近年は価格が高くなり、高級な食品になった感があります。

それに対し、バナナは一番下の価格帯のものは5本1房で200円前後ですから、リンゴ、ナシ、モモ、イチゴなどの国産品に比して安く思えます。

昨年でしたか、来日したフィリピンの大統領が日本にもっとバナナを高く買ってくれと要請していたことがありました。

私の子供の頃は、味は酸っぱくて現在のものほどおいしくありませんでしたが、リンゴもミカンも安く、とくにミカンなど出盛り（懐かしい言葉でしょう）時期になると顔が黄色くなるほど食べたものです。

それに対しバナナは貴重品中の貴重品で、減多な事ではありつけず、一度でよいから何十本も束になった大きい房から思いっきり食べてみたいと思ったのが懐かしい思い出です。

それが今では一番安い果物というのですから栄枯盛衰を地で行ったような話です。

というわけで、高齢者は米食を減らし、大豆製品とバナナを食することをお勧めします。健康に良いし、何より経済的です。